

News Release

No. 60-36

2023年5月11日

自社業況のBSIは9四半期連続してプラスで推移。売上・利益のBSIも改善

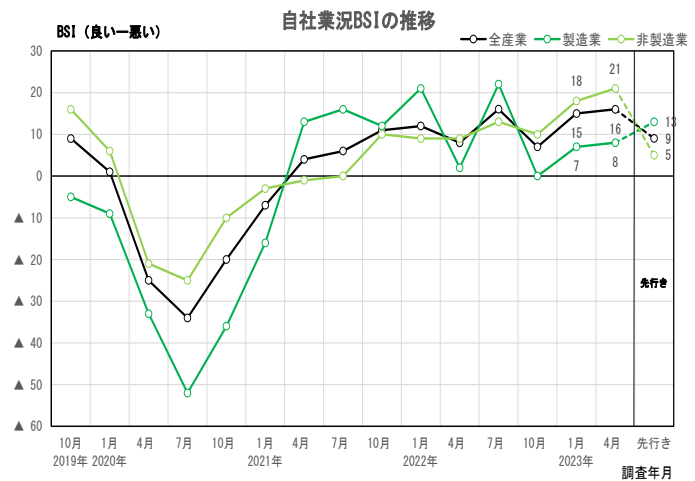
——— 第175回企業経営動向調査より ———

埼玉県内の企業を対象に4月に実施したアンケート「第175回企業経営動向調査」(対象企業1,023社、回答企業数338社、回答率33.0%)によると、自社業況BSIが9四半期連続でプラスで推移し、売上・利益のBSIも改善した。価格転嫁については、5割以上転嫁しているところは半数以下にとどまる。

最近の自社の業況(2023年4月)に対する見方は、

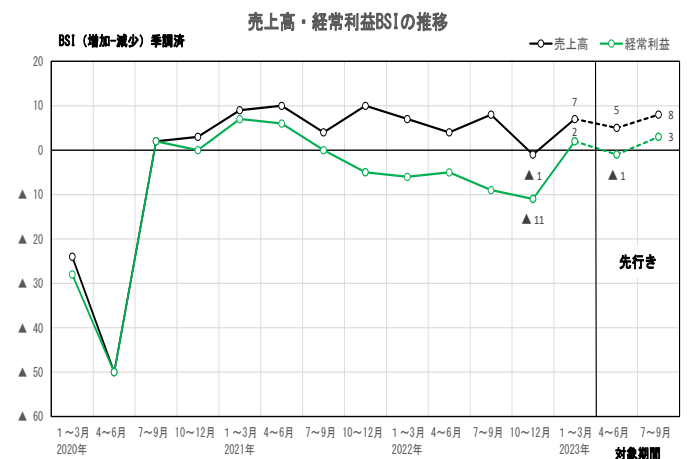
「良い」25%、「悪い」9%で、BSI(「良い」－「悪い」の企業割合)は+16となり、前回調査(2023年1月)の+15から1ポイントの上昇となった。自社業況のBSIは9四半期連続でプラスで推移しており、「良い」とするところの方が多い。本調査は4月に実施したが、新型コロナウイルスの感染状況が落ちついており、感染症法上の分類の5類への移行や、インバウンドの回復などにみられる経済活動正常化に向けた動きから、9四半期連続のプラスにつながったとみられる。

先行き(約6カ月後)については「良い」22%、「悪い」13%で、BSIは+9と、現状から7ポイントの悪化となった。特に非製造業では、現状から▲16ポイントと、慎重な見方となっている。非製造業では、物価上昇に伴う購買力低下による個人消費の伸び悩みを懸念しているとみられる。

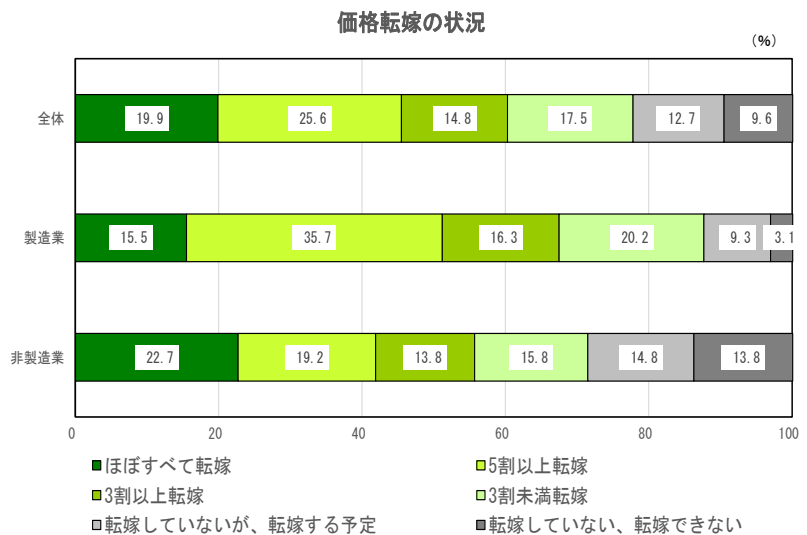


2023年1～3月期の売上高は、季調済BSI(「増加」－「減少」の企業割合、季節調整済)が+7となり、前回調査対象期間(2022年10～12月期)の▲1から8ポイントの改善となった。売上高のBSIは、前回調査対象期間にマイナスに転じたが、今回再びプラスとなった。先行きについては、2023年4～6月期のBSIが+5、7～9月期は+8と、多少の増減はあるものの、プラスで推移する。

2023年1～3月期の経常利益は、季調済BSIが+2となり、前回調査対象期間(2022年10～12月期)の▲11から13ポイントの改善で、7四半期ぶりにプラスに転じた。売上高の改善とともに、経常利益も改善している。先行きについては、2023年4～6月期のBSIが▲1、7～9月期は+3と、マイナスをはさんだ動きとなっている。



仕入価格や諸経費価格の上昇分をどの程度、製・商品・サービス価格へ転嫁しているかについて聞いたところ、「ほぼすべて転嫁している」が19.9%、「5割以上転嫁している」が25.6%、「3割以上転嫁している」が14.8%、「3割未満転嫁している」が17.5%、「転嫁していないが、転嫁する予定」が12.7%、「転嫁していない、転嫁できない」が9.6%となった。



「ほぼすべて転嫁」と「5割以上転嫁」を合わせると45.5%となり、同様の質問を行った昨年7月の回答結果30.4%からは転嫁が進んでいるものの、半数以上の企業では5割未満の転嫁か転嫁できていない状況である。

業種別に、「ほぼすべて転嫁」と「5割以上転嫁」をあわせた比率をみると、製造業51.2%に対し、非製造業では41.9%と低くなっている。非製造業では、「転嫁していないが転嫁する予定」、「転嫁していない、転嫁できない」が製造業に対して、ともに高くなっている。(照会先：太田)

1. 景況判断

(1) 国内景気

(現状)

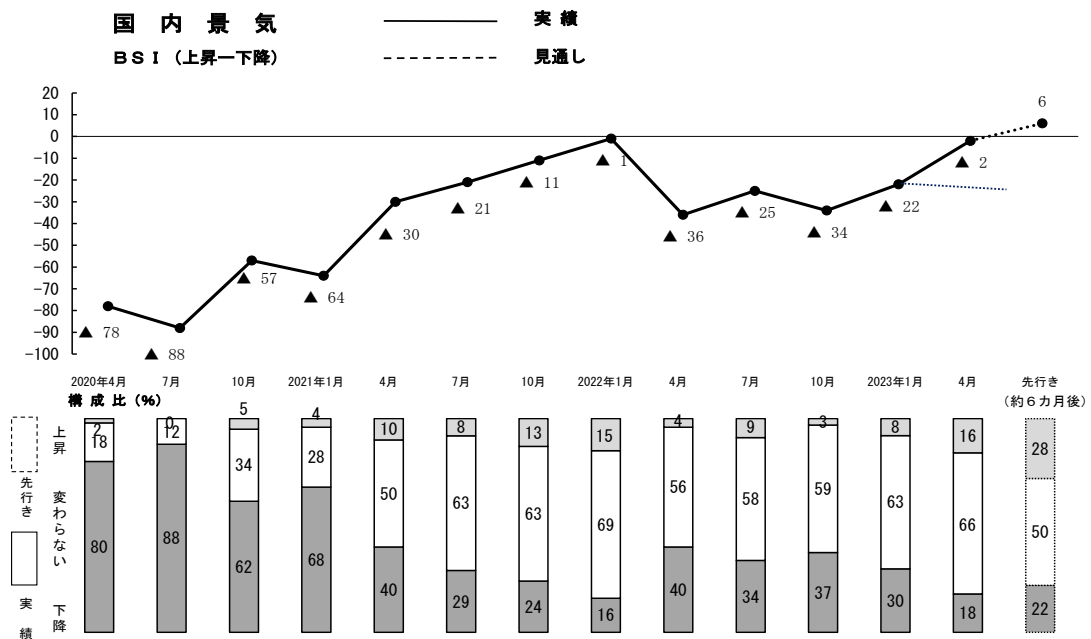
最近(2023年4月)の国内景気に対する見方は、「上昇」16%、「下降」18%で、BSI(「上昇」-「下降」の企業割合)は▲2と、前回調査(2023年1月)の▲22から20ポイント上昇し、2四半期連続の改善となった。本調査は4月に実施したが、新型コロナの感染状況が落ちついており、感染症法上の分類の5類への移行や、インバウンドの回復などにみられる経済活動正常化に向けた動きから、大幅な改善につながったとみられる。

業種別にみると、製造業はBSI▲3で前回調査の▲23から20ポイント、非製造業は0で前回調査の▲21から21ポイントの改善となり、BSIの水準・改善幅とも業種間の大きな差はみられなかった。

(先行き)

先行き(約6カ月後)については、「上昇」28%、「下降」22%で、BSIは+6と、現状の▲2から8ポイント改善した。国内景気の先行きのBSIがプラスとなるのは、昨年1月調査以来である。現状よりも、さらなる経済活動正常化の期待を反映しているとみられる。

業種別では、製造業はBSI+9で現状の▲3から12ポイント、非製造業は+5で現状の0から5ポイントの改善となり、製造業の改善が目立った。



(2) 業界景気

(現 状)

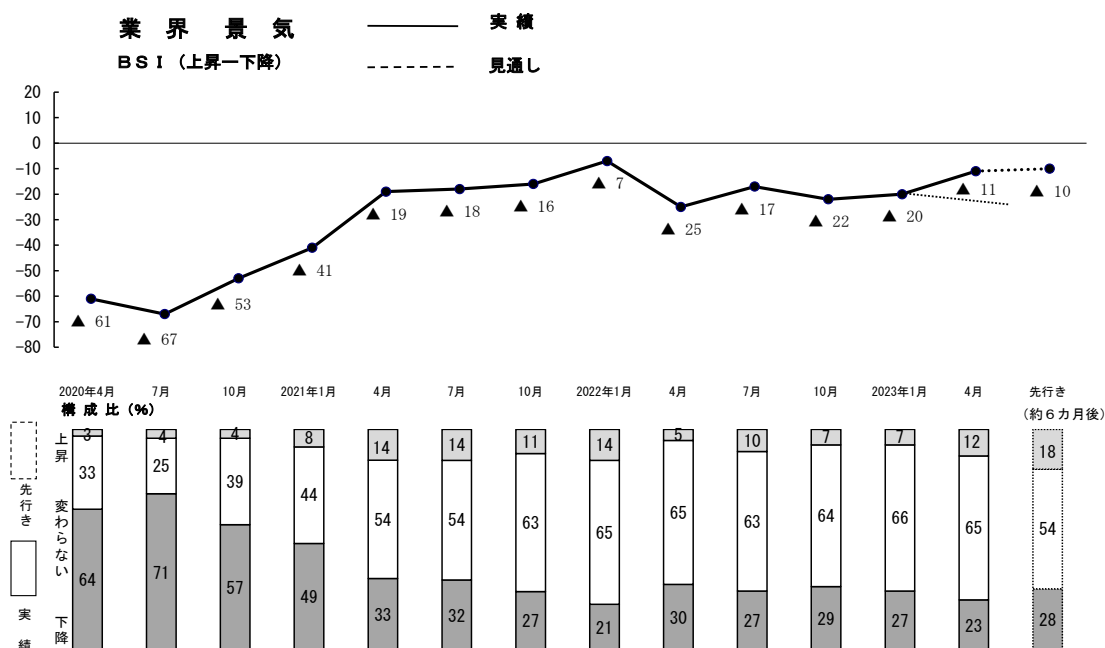
最近の自社業界の景気に対する見方は、「上昇」12%、「下降」23%で、BSIは▲11となり、前回調査（2023年1月）の▲20から9ポイント上昇し、2四半期連続の改善となった。

業種別にみると、製造業はBSI ▲18で前回調査の▲24から6ポイント、非製造業は▲7で前回調査の▲18から11ポイントの改善となり、非製造業の改善が目立った。非製造業では「サービス」の改善幅が大きくなっている。新型コロナの感染状況の落ち着きが、対面型の業務が多い「サービス」の改善につながったとみられる。

(先行き)

先行きについては「上昇」18%、「下降」28%で、BSIは▲10と、現状の▲11から1ポイントの改善となった。国内景気に比べて業界景気の先行き改善幅は限定的であり、先行き不透明感を反映しているとみられる。

業種別では、製造業はBSI ▲4で現状の▲18から14ポイントの改善、非製造業は▲14で現状の▲7から7ポイントの悪化となり、方向感が分かれた。非製造業では、物価上昇に伴う購買力低下による個人消費の伸び悩みを懸念しているとみられる。



(3) 自社業況

(現 状)

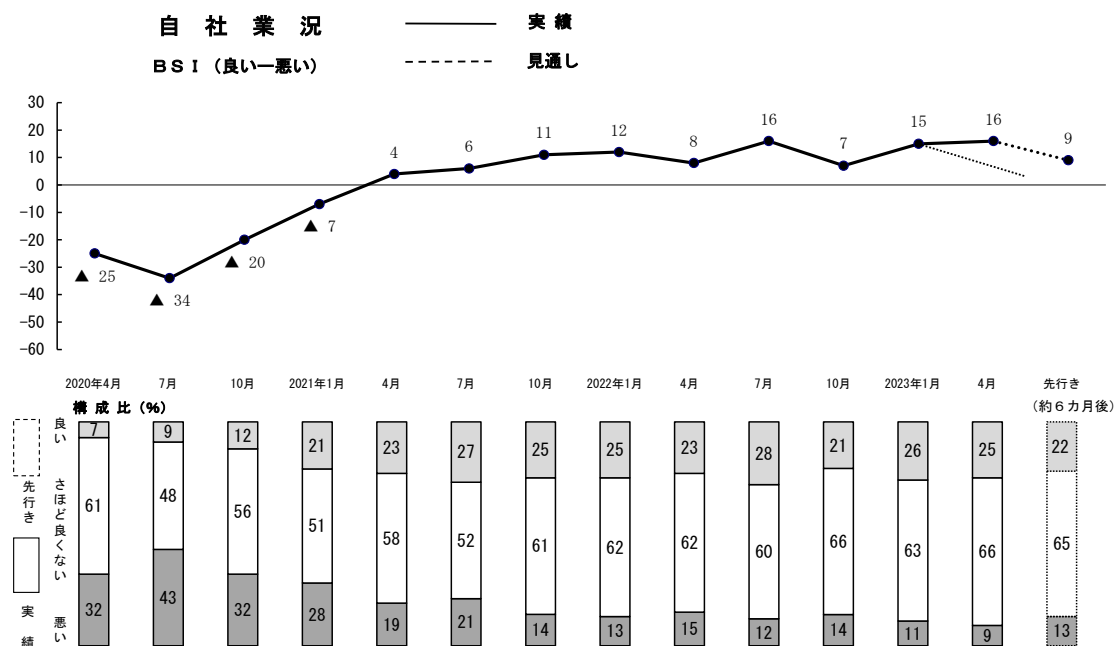
最近の自社の業況に対する見方は、「良い」25%、「悪い」9%で、BSI（「良い」－「悪い」の企業割合）は+16となり、前回調査（2023年1月）の+15から1ポイントの上昇となった。自社業況のBSIは9四半期連続でプラスで推移しており、「良い」とするところの方が多い。

業種別にみると、製造業はBSIが+8で前回調査の+7から1ポイント、非製造業は+21で前回調査の+18から3ポイント、いずれも上昇した。BSIの上昇幅に大きな差はなかったが、BSIの水準は非製造業の方が13ポイント高い。非製造業では「飲食店・宿泊」・「サービス」の改善幅が大きく、BSIの水準も高くなっている。

(先行き)

先行きについては「良い」22%、「悪い」13%で、BSIは+9と、現状から7ポイントの悪化となった。業界景気の先行きはわずかながらも改善しているのに対し、自社業況の先行きは悪化しており、慎重な姿勢となっている。

業種別では、製造業はBSI +13で現状の+8から5ポイントの改善、非製造業は+5で現状の+21から16ポイントの悪化となり、非製造業での悪化が目立っている。非製造業では、業界景気の先行きと同様、物価上昇に伴う購買力低下による個人消費の伸び悩みを懸念しているとみられる。



2. 経営動向

(1) 売上高

(現 状)

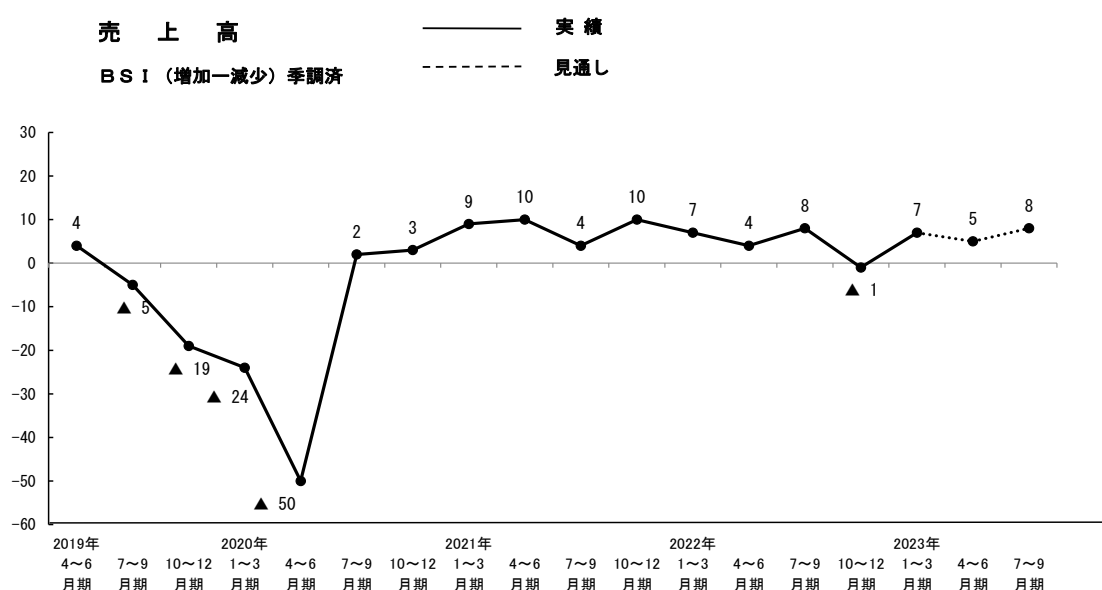
2023年1～3月期の売上高は、季調済BSI（「増加」－「減少」の企業割合、季節調整済）が+7となり、前回調査対象期間（2022年10～12月期）の▲1から8ポイントの改善となった。売上高のBSIは、前回調査対象期間に10四半期ぶりにマイナスに転じたが、今回再びプラスとなった。

業種別にみると、製造業はBSI +4で前回調査の▲2から6ポイント、非製造業は+9で前回調査の0から9ポイントの改善となった。

(先行き)

先行きについては、2023年4～6月期のBSIが+5、7～9月期は+8と、多少の増減はあるものの、プラスで推移する。

業種別では、製造業が2023年1～3月期、4～6月期、7～9月期に+4→+10→+20、非製造業では+9→+3→▲1となっており、製造業と非製造業で方向感が割れている。業界景気・自社業況同様、非製造業では、物価上昇による消費者の購買力低下による売り上げの伸び悩みを見込んでみるとみられる。



(2) 経常利益

(現 状)

2023年1～3月期の経常利益は、季調済BSIが+2となり、前回調査対象期間（2022年10～12月期）の▲11から13ポイントの改善となった。経常利益のBSIは、7四半期ぶりにプラスに転じている。売上高・経常利益のBSIとも改善しており、今のところ仕入価格や諸経費価格の上昇については、企業努力により影響を回避しているとみられる。

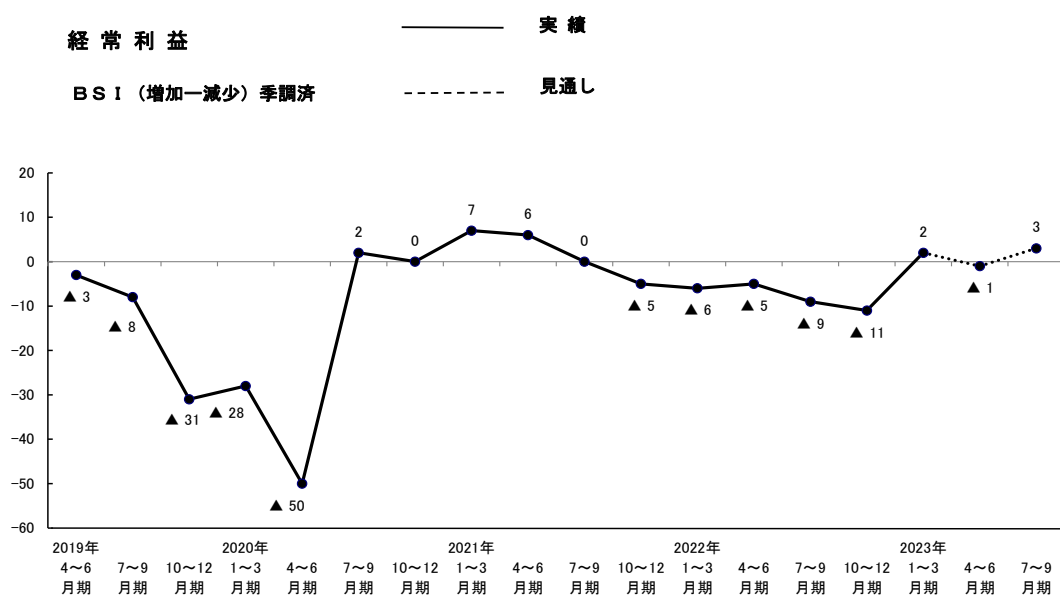
経常利益増加企業の増加の要因（複数回答）は、「売上・受注の好調」をあげるところが79.4%、「販売単価の上昇」が45.1%などとなった。

業種別にみると、製造業はBSI+1で前回調査の▲11から12ポイント、非製造業は+3で前回調査の▲9から12ポイントの改善となり、BSIの水準・改善幅とも業種間の大きな差はみられなかった。

(先行き)

先行きについては、2023年4～6月期のBSIが▲1、7～9月期は+3と、マイナスをはさんだ動きとなっている。仕入れ価格や諸経費価格の価格転嫁の動きや、自社の販売価格への転嫁方針などを慎重に見極めていとみられる。

業種別では、製造業が2023年1～3月期、4～6月期、7～9月期に+1→+2→+15、非製造業では+3→▲5→▲5となっており、製造業と非製造業で方向感が分かれている。非製造業では、さらなる仕入価格・諸経費価格の上昇を見込んだり、物価上昇による消費者の購買力低下による売上げの伸び悩みを見込んでいるとみられる。



(3) 設備投資

(現 状)

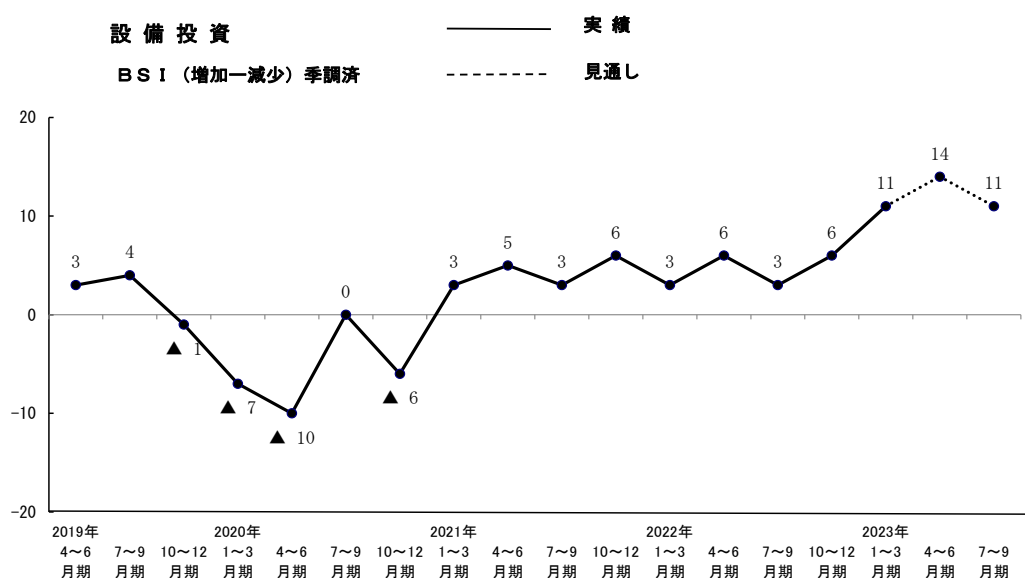
2023年1～3月期の設備投資は、季調済BSIが+11となり、前回調査対象期間（2022年10～12月期）の+6から+5ポイントと、2四半期連続の改善となった。設備投資のBSIは多少の変動を伴いながらも9四半期連続でプラスで推移しており、設備投資は底堅く推移している。

業種別にみると、製造業はBSI +8 で前回調査の+4 から 4 ポイント、非製造業は+16 で前回調査の+7 から 9 ポイントの改善となり、非製造業での改善が目立った。人手不足が危惧されるもとで経済活動正常化が期待されるなか、非製造業を中心に合理化投資に力を入れたものとみられる。

(先行き)

先行きについては、2023年4～6月期のBSIが+14、7～9月期は+11と、プラスで推移する。

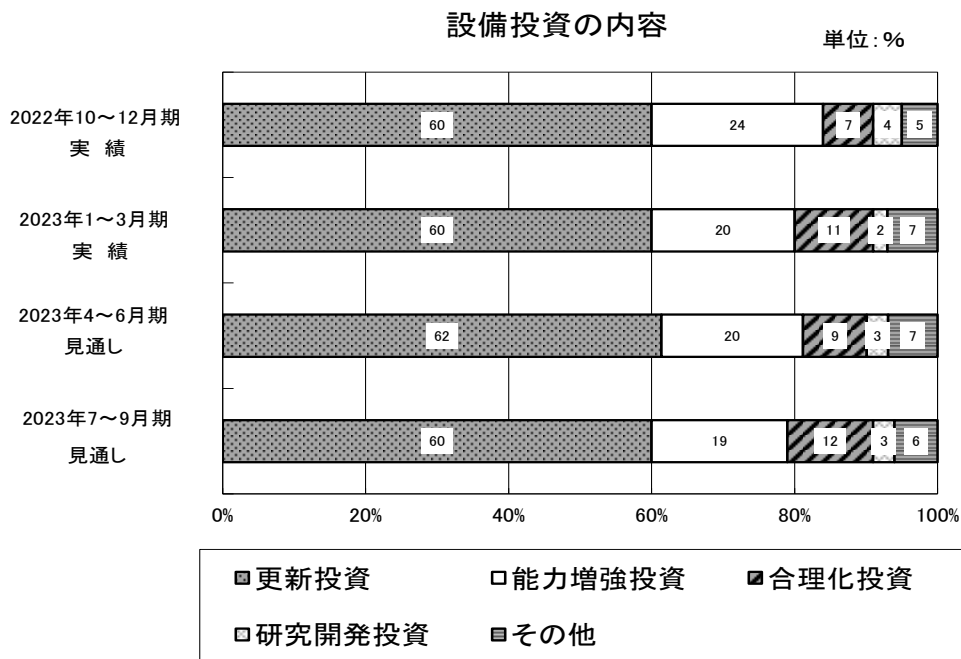
業種別では、製造業が2023年1～3月期、4～6月期、7～9月期に+8→+18→+8、非製造業では+16→+12→+11となっており、プラスで推移している。



<設備投資の内容>

設備投資の内容については、2023年1～3月期は「更新投資」が60%、「能力増強投資」20%、「合理化投資」11%、「研究開発投資」2%などとなり、「更新投資」の比率が約6割と、更新投資中心の内容となった。「合理化投資」が10～12月に比べると4ポイント増加しているのが目立っている。

2023年4～6月期、7～9月期の見通しについても、引き続き「更新投資」中心となっている。



(4) 雇 用

(現 状)

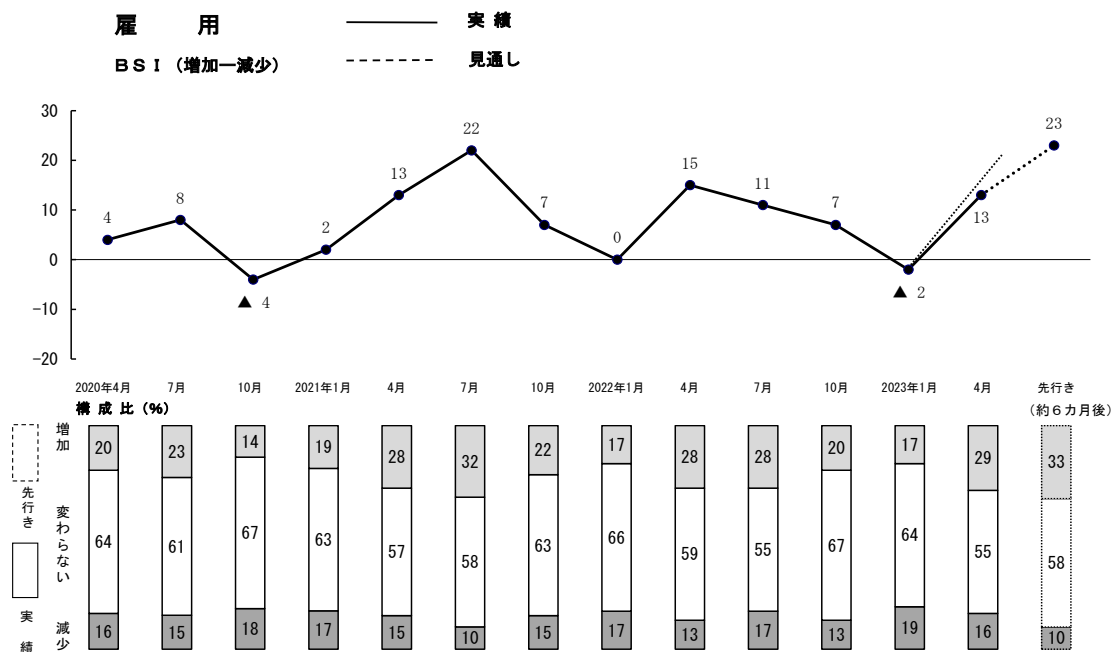
最近（ここ6カ月間）の雇用状況をみると、雇用人員が「増加」とした企業は29%、「減少」とした企業は16%で、BSIは+13と前回調査の▲2から15ポイントの増加となった。本質問項目は前6カ月間の雇用状況の変化を聞いており、新卒者の採用による増加を反映する4・7月調査では、BSIが上昇する傾向がある。今回調査でもBSIは上昇し、高い数値となった。増加した企業は12ポイント増加しており、企業の積極的な雇用姿勢が窺える。

業種別にみると、製造業はBSI +13で前回調査の▲2から15ポイント、非製造業は+14で前回調査の▲3から17ポイントの改善と、いずれも大幅に改善した。

(先行き)

先行き（約6カ月後）については、「増加」とする企業が33%、「減少」とする企業10%でBSIは+23と、現状から10ポイントの改善となり、県内の雇用環境は先行きについても良好に推移するとみられる。

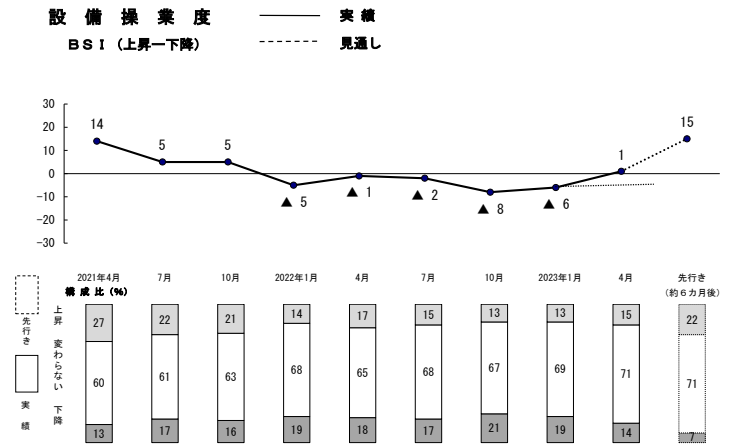
業種別では、製造業はBSI +25で現状から12ポイント、非製造業は+22で8ポイントの改善となっている。



(5) 設備操業度 (製造業)

(現 状)

最近(ここ6カ月間)の設備操業度は、「上昇」15%、「下降」14%でBSI(上昇-下降)は+1と、前回調査の▲6から7ポイント上昇した。設備操業度は改善している。



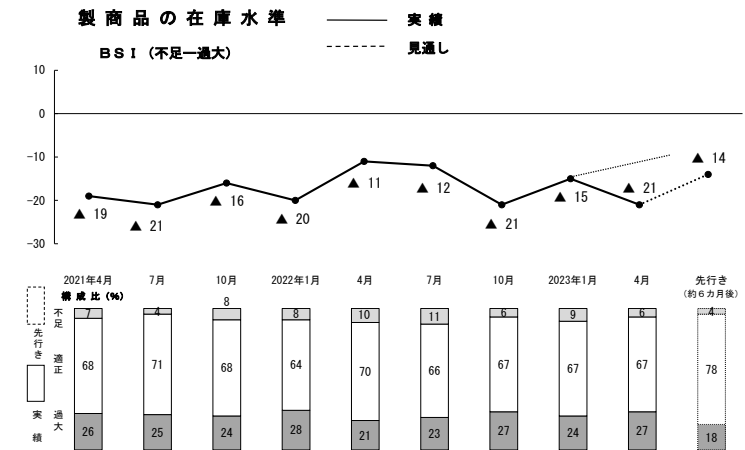
(先行き)

先行き(約6カ月後)については、「上昇」22%、「下降」7%となり、BSIは+15と現状より14ポイントの上昇となった。先行きの設備操業度は大幅に改善している。

(6) 在庫水準 (製造業)

(現 状)

最近の在庫水準は「不足」6%、「過大」27%でBSI(不足-過大)は▲21と、前回調査の▲15から6ポイントの悪化となった。在庫水準について、「過大」とするところが増加し、「不足」とするところが増加している。



(先行き)

先行き(約6カ月後)については、「不足」4%、「過大」18%となり、BSIは▲14と現状より7ポイントの改善となった。先行きについては、在庫が「過大」とするところが増加している。

3. 経営上の問題点

経営上の問題点（複数回答）については、「仕入原価上昇」が59%と最も多かった。次いで、「人材・人手不足」51%、「諸経費上昇」45%、「売上・受注不振」28%、「製商品安」6%、「資金不足・資金繰り難」2%などとなった。

業種別にみると、「仕入原価上昇」について、製造業が非製造業より14ポイント、「人材・人手不足」について、非製造業が製造業より14ポイント多いのが目立った。

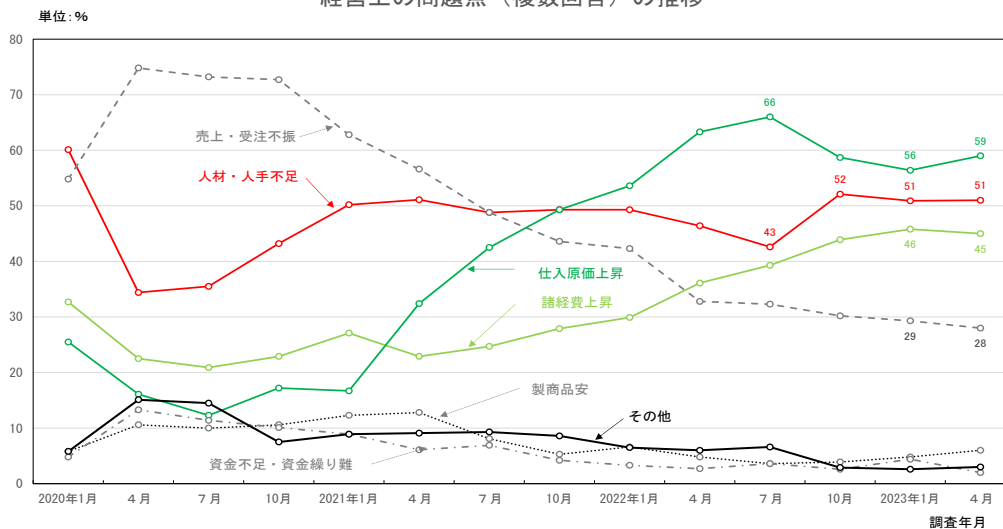
経営上の問題点については、原油や資源価格等の上昇を受け、2021年4月調査以降「仕入原価上昇」の比率が急上昇していたが、前々回調査・前回調査では、原油や資源価格等が落ち着きを見せていたことから、「仕入原価上昇」の比率が低下した。今回調査では再び「仕入原価上昇」の比率が上昇している。「仕入原価上昇」は製造業が前回74%から今回68%に低下している一方、非製造業は前回47%から今回54%に上昇しており、非製造業での仕入価格への価格転嫁が、製造業での価格転嫁の動きに比してタイムラグをもって進みつつあることを示すものとみられる。

「仕入原価上昇」や「人材・人手不足」・「諸経費上昇」の比率が依然高い水準にあることに加え、賃上げの動きが広がっていることを踏まえると、収益的に厳しい状況が当面続くとみられる。

経営上の問題点（複数回答）

	全産業		製造業		非製造業	
	前回	今回	前回	今回	前回	今回
仕入原価上昇	56	59	74	68	47	54
人材・人手不足	51	51	39	42	57	56
諸経費上昇	46	45	43	47	47	44
売上・受注減少	29	28	28	29	30	27
製商品安	5	6	4	6	5	5
資金不足・資金繰り難	4	2	7	1	3	3
その他	3	3	3	1	2	4

経営上の問題点（複数回答）の推移



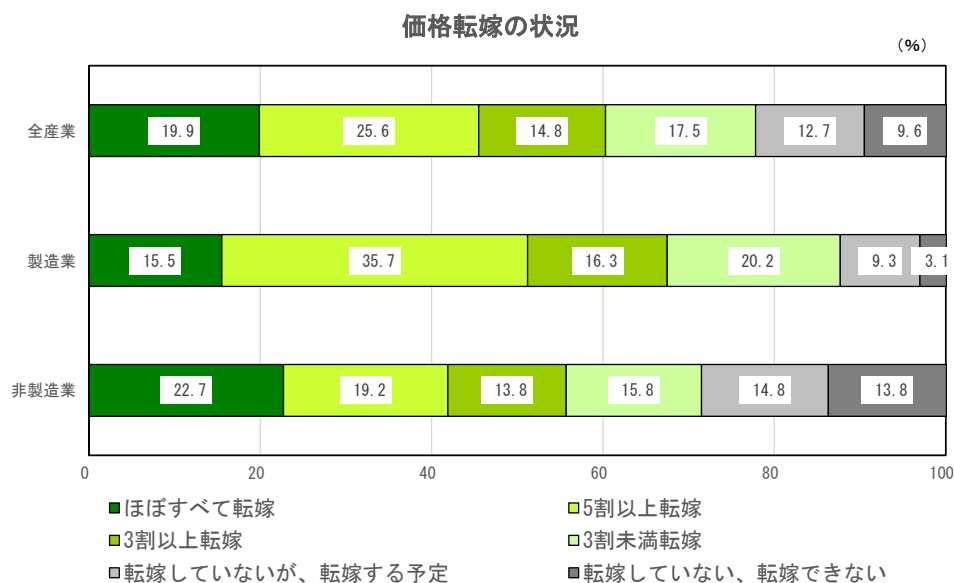
4. 価格転嫁について

(1) 価格転嫁状況

仕入価格や諸経費価格の上昇分をどの程度、製・商品・サービス価格へ転嫁しているかについて聞いたところ、「ほぼすべて転嫁している」が19.9%、「5割以上転嫁している」が25.6%、「3割以上転嫁している」が14.8%、「3割未満転嫁している」が17.5%、「転嫁していないが、転嫁する予定」が12.7%、「転嫁していない、転嫁できない」が9.6%となった。

「ほぼすべて転嫁」と「5割以上転嫁」を合わせても45.5%となり、同様の質問を行った昨年7月の回答結果30.4%からは転嫁が進んでいるものの、半数以上の企業では5割未満の転嫁か転嫁できていない状況である。

業種別に、「ほぼすべて転嫁」と「5割以上転嫁」をあわせた比率をみると、製造業51.2%に対し、非製造業では41.9%と低くなっている。非製造業では、「転嫁していないが転嫁する予定」、「転嫁していない、転嫁できない」が製造業に対して、ともに高くなっている。

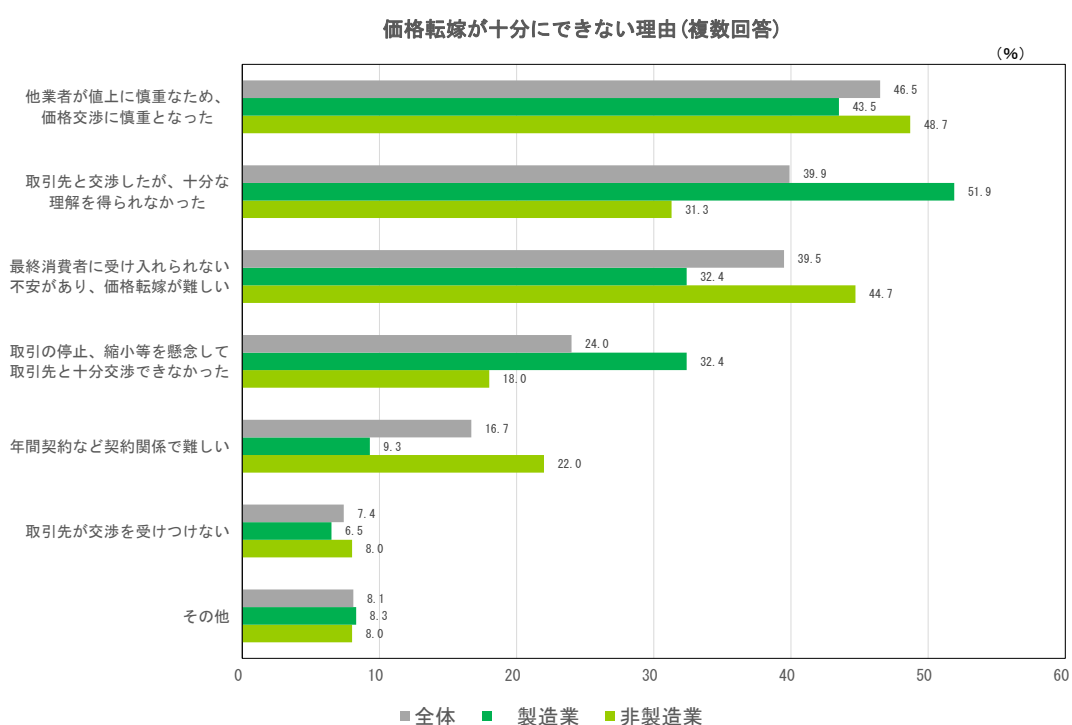


(2) 価格転嫁が十分にできない理由

価格転嫁ができない理由（複数回答）を聞いたところ、「他業者が値上に慎重なため、価格交渉に慎重となった」が46.5%と最も多く、次いで「取引先と交渉したが、十分な理解を得られなかった」が39.9%、「最終消費者に受け入れられない不安があり、価格転嫁が難しい」が39.5%、「取引の停止・縮小等を懸念して取引先と十分交渉できなかった

た」が24.0%、「年間契約など契約関係で難しい」が16.7%、「取引先が交渉を受けつけない」が7.4%等となった。他業者の値上状況を勘案しながら、最終消費者に値上げを受け入れてもらえるかを懸念している状況が窺える。

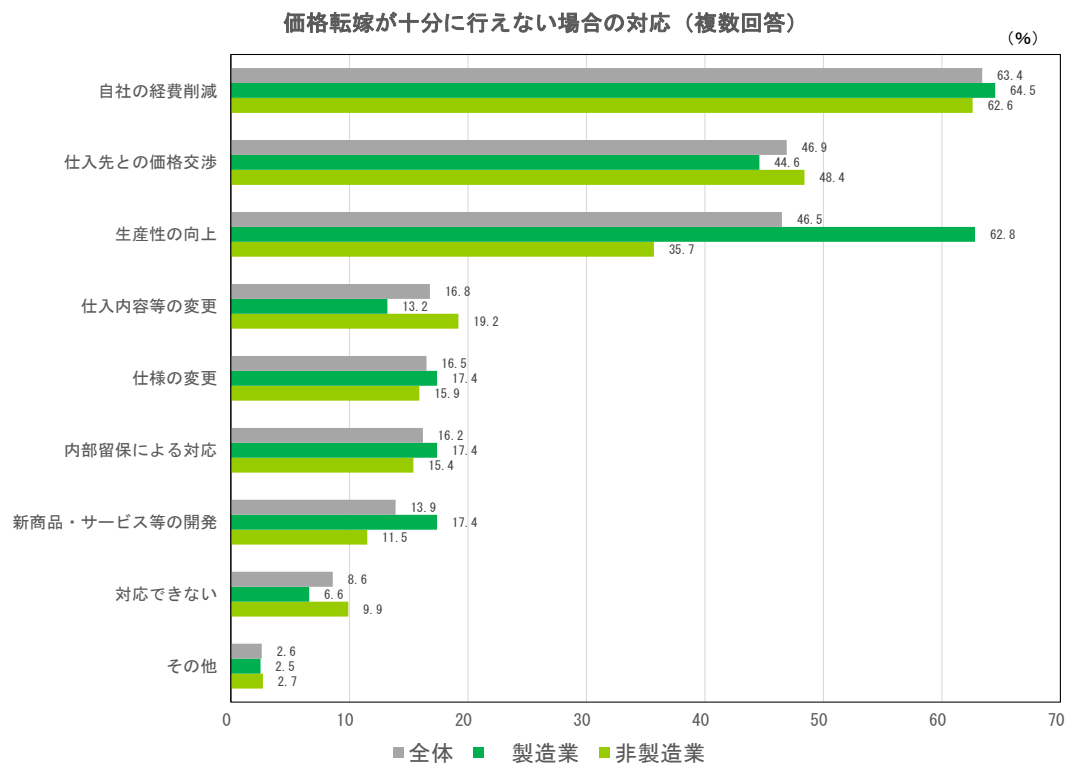
業種別にみると、製造業では、「取引先と交渉したが、十分な理解を得られなかった」が非製造業の31.3%に対して51.9%と20.6ポイント高いほか、「取引の停止・縮小等を懸念して取引先と十分交渉できなかった」が非製造業の18.0%に対して32.4%と14.4ポイント高く、非製造業では、「年間契約など契約関係で難しい」が製造業の9.3%に対して22.0%と12.7ポイント高いほか、「最終消費者に受け入れられない不安があり、価格転嫁が難しい」が製造業の32.4%に対して44.7%と12.3ポイント高いのが目立った。



(3) 価格転嫁が十分に行えない場合の対応

価格転嫁が十分に行えない場合の対応（複数回答）を聞いたところ、「自社の経費削減」が63.4%ともっとも多く、次いで「仕入先との価格交渉」が46.9%、「生産性の向上」が46.5%、「仕入内容等の変更」が16.8%、「仕様の変更」が16.5%、「内部留保による対応」が16.2%、「新商品・サービス等の開発」が13.9%、「対応できない」が8.6%等となった。業種別にみると、製造業では「生産性の向上」が「自社の経費削減」に続いて次位となっているが、非製造業では「仕入先との価格交渉」が次位で「生産性の向上」は3番目となっており、

「生産性の向上」の両業種間の差は27.1ポイントと大きな開きがある。このことは、非製造業においては、価格転嫁が十分に行えず、利益が圧迫される状況となった場合には、逆説的に付加価値を高めて生産性を向上させていく必要があることを示しているとみられる。



付表 業種別項目別BSIの推移

業 種	項 目 期 別	国内景気 (上昇-下降)			業界の景気 (上昇-下降)			自社の業況 (良い-悪い)		
		2023年 1月 前回調査	2023年 4月 今回調査	2023年 9月まで 見通し	2023年 1月 前回調査	2023年 4月 今回調査	2023年 9月まで 見通し	2023年 1月 前回調査	2023年 4月 今回調査	2023年 9月まで 見通し
		全 産 業	▲ 22	▲ 2	6	▲ 20	▲ 11	▲ 10	15	16
製 造 業	▲ 23	▲ 3	9	▲ 24	▲ 18	▲ 4	7	8	13	
食 料 品	▲ 29	▲ 6	0	▲ 15	▲ 44	▲ 32	15	▲ 13	13	
織 維	▲ 33	▲ 10	0	▲ 33	▲ 30	▲ 13	33	10	0	
紙・紙加工品	▲ 29	0	11	▲ 29	0	11	▲ 15	0	11	
化 学	▲ 38	▲ 12	14	▲ 50	▲ 6	▲ 14	12	12	13	
窯業・土石	▲ 100	---	---	▲ 100	---	---	▲ 100	---	---	
鉄鋼・非鉄金属	0	▲ 11	44	0	▲ 22	22	0	33	22	
金 属 製 品	0	11	11	0	11	11	0	22	44	
一 般 機 械	25	25	25	25	0	25	50	25	0	
電 気 機 械	▲ 31	▲ 31	▲ 8	▲ 23	▲ 31	▲ 8	15	▲ 38	▲ 15	
輸 送 機 械	▲ 17	0	23	▲ 17	▲ 12	11	0	23	35	
印 刷	▲ 40	0	▲ 67	▲ 40	▲ 33	▲ 67	0	0	▲ 33	
そ の 他 製 造	▲ 20	9	4	▲ 40	▲ 13	▲ 4	▲ 7	22	13	
非 製 造 業	▲ 21	0	5	▲ 18	▲ 7	▲ 14	18	21	5	
卸 売	▲ 18	9	9	▲ 18	▲ 9	▲ 30	25	30	0	
小 売	▲ 38	▲ 5	0	▲ 38	▲ 22	▲ 57	9	13	▲ 24	
建 設	▲ 38	▲ 19	▲ 13	▲ 25	▲ 16	▲ 16	17	14	5	
不 動 産	▲ 32	0	10	0	▲ 10	▲ 10	25	32	21	
運 輸 ・ 倉 庫	▲ 9	▲ 4	4	▲ 18	▲ 12	▲ 8	27	13	▲ 4	
電 気 ・ ガ ス	▲ 33	▲ 17	16	▲ 16	▲ 17	16	▲ 17	0	0	
情 報 通 信	▲ 22	22	22	▲ 11	▲ 11	0	22	0	11	
飲 食 店 ・ 宿 泊	11	0	29	11	0	▲ 14	22	43	43	
サ ー ビ ス	▲ 13	8	11	▲ 18	10	7	15	27	14	

項目 期別 業種	売上高 (増加-減少)								経常利益 (増加-減少)							
	原数値				季調値				原数値				季調値			
	2022年 10~12月 実績	2023年 1~3月 実績	2023年 4~6月 見通し	2023年 7~9月 見通し	2022年 10~12月 実績	2023年 1~3月 実績	2023年 4~6月 見通し	2023年 7~9月 見通し	2022年 10~12月 実績	2023年 1~3月 実績	2023年 4~6月 見通し	2023年 7~9月 見通し	2022年 10~12月 実績	2023年 1~3月 実績	2023年 4~6月 見通し	2023年 7~9月 見通し
全産業	19	4	2	7	▲1	7	5	8	5	0	▲6	2	▲11	2	▲1	3
製造業	18	▲2	8	17	▲2	4	10	20	6	▲2	0	14	▲11	1	2	15
食料品	7	▲7	25	12	▲12	25	11	20	15	▲13	25	25	▲10	16	17	28
繊維	0	0	10	▲30	▲4	9	▲8	▲6	▲17	▲10	0	▲50	▲26	6	▲20	▲18
紙・紙加工品	0	▲22	0	11	▲28	4	▲9	17	▲33	▲11	▲22	11	▲59	15	▲24	16
化学	25	7	31	19	15	15	28	12	0	0	0	18	▲12	▲1	6	20
窯業・土石	0	---	---	---	▲16	---	---	---	100	---	---	---	77	---	---	---
鉄鋼・非鉄金属	25	▲22	0	44	14	▲28	27	46	25	▲22	▲11	33	31	▲51	▲6	44
金属製品	0	22	▲22	56	▲4	6	▲3	48	▲50	34	0	67	▲62	11	15	50
一般機械	50	0	▲75	50	12	19	▲71	45	25	25	▲75	25	8	6	▲48	49
電気機械	8	8	▲24	▲15	▲10	0	▲10	▲18	0	8	▲23	▲15	▲11	0	▲12	▲19
輸送機械	25	0	17	41	▲7	15	28	52	16	11	23	41	▲24	8	47	52
印刷	40	▲67	33	▲33	▲22	▲59	59	▲34	20	▲67	33	▲33	▲44	▲62	45	▲46
その他製造	33	0	17	17	32	1	8	16	14	▲4	4	5	7	4	▲11	6
非製造業	20	8	▲1	0	0	9	3	▲1	5	2	▲11	▲6	▲9	3	▲5	▲5
卸売	43	0	0	▲11	5	10	2	▲5	3	▲9	▲3	▲14	▲21	1	6	▲5
小売	29	30	▲35	▲9	30	7	▲2	▲8	0	22	▲57	▲4	▲3	▲11	▲32	▲12
建設	4	6	▲24	0	▲16	0	▲21	▲5	▲7	14	▲31	▲14	▲26	6	▲26	▲20
不動産	0	15	15	10	▲4	7	24	11	18	5	15	▲5	18	4	19	7
運輸・倉庫	32	▲29	29	0	9	▲13	13	3	14	▲41	9	▲12	▲7	▲27	1	▲7
電気・ガス	67	67	▲33	▲33	-	-	-	-	67	67	▲33	▲50	-	-	-	-
情報通信	▲11	22	0	22	▲12	▲7	6	11	▲11	0	▲22	22	▲12	▲30	▲5	24
飲食店・宿泊	44	14	43	33	39	57	13	0	22	0	33	67	4	40	3	41
サービス	7	11	6	5	▲6	17	14	3	▲5	4	▲2	2	▲15	13	8	3

業 種	項 目 期 別	設 備 投 資 (増加-減少)								雇 用 (増加-減少)		
		原数値				季調値				2023年 1月 前回調査	2023年 4月 今回調査	2023年 9月まで 見通し
		2022年 10~12月 実績	2023年 1~3月 実績	2023年 4~6月 見通し	2023年 7~9月 見通し	2022年 10~12月 実績	2023年 1~3月 実績	2023年 4~6月 見通し	2023年 7~9月 見通し			
全 産 業		10	11	11	11	6	11	14	11	▲ 2	13	23
製 造 業		10	7	17	11	4	8	18	8	▲ 2	13	25
食 料 品		14	38	44	0	▲ 2	45	50	5	▲ 7	44	25
織 維		16	0	0	10	1	▲ 1	▲ 16	18	0	0	38
紙・紙加工品		0	25	25	25	▲ 8	▲ 11	33	24	▲ 17	22	▲ 11
化 学		12	12	12	6	10	19	14	6	▲ 37	0	0
窯業・土石		0	---	---	---	4	---	---	---	100	---	---
鉄鋼・非鉄金属		25	▲ 11	44	11	37	▲ 10	30	▲ 22	▲ 50	11	44
金 属 製 品		50	0	33	▲ 11	37	12	29	1	25	0	44
一 般 機 械		0	0	0	0	0	16	25	0	▲ 25	▲ 25	75
電 気 機 械		7	▲ 7	7	0	4	▲ 10	13	▲ 2	0	24	23
輸 送 機 械		33	▲ 5	11	23	15	7	16	19	17	▲ 5	11
印 刷		0	0	0	0	▲ 1	2	▲ 10	▲ 13	0	33	33
そ の 他 製 造		▲ 20	4	4	31	▲ 23	▲ 5	0	26	13	22	35
非 製 造 業		10	16	7	9	7	16	12	11	▲ 3	14	22
卸 売		11	16	▲ 3	0	13	14	7	▲ 2	15	12	27
小 売		5	4	▲ 9	9	17	8	▲ 5	9	▲ 5	0	▲ 5
建 設		0	▲ 3	0	6	1	▲ 3	3	8	▲ 17	18	17
不 動 産		0	20	20	15	▲ 2	22	16	18	12	30	50
運 輸 ・ 倉 庫		22	20	25	13	15	11	39	17	4	8	30
電 気 ・ ガ ス		50	0	0	33	-	-	-	-	16	0	33
情 報 通 信		22	22	33	0	18	21	22	2	▲ 11	13	12
飲 食 店 ・ 宿 泊		11	29	14	43	▲ 15	49	22	42	▲ 11	15	43
サ ー ビ ス		7	27	4	9	10	24	5	14	▲ 10	17	14

業 種	項 目 期 別	設備操業度 (上昇-下降)			在庫水準 (不足-過大)		
		2023年 1月 前回調査	2023年 4月 今回調査	2023年 9月まで 見通し	2023年 1月 前回調査	2023年 4月 今回調査	2023年 9月まで 見通し
		全 産 業	-	-	-	-	-
製 造 業	▲ 6	1	15	▲ 15	▲ 21	▲ 14	
食 料 品	14	13	25	14	▲ 18	6	
織 維	17	0	13	0	▲ 20	▲ 25	
紙・紙加工品	▲ 57	▲ 22	▲ 11	▲ 14	▲ 11	▲ 11	
化 学	13	19	13	▲ 25	▲ 19	▲ 13	
窯業・土石	0	---	---	▲ 100	---	---	
鉄鋼・非鉄金属	0	▲ 11	22	▲ 25	▲ 33	▲ 22	
金 属 製 品	0	22	44	0	▲ 22	▲ 11	
一 般 機 械	25	0	0	▲ 25	0	▲ 25	
電 気 機 械	▲ 15	▲ 7	8	▲ 31	0	▲ 9	
輸 送 機 械	▲ 42	▲ 29	17	▲ 25	▲ 29	▲ 18	
印 刷	0	0	0	0	0	0	
そ の 他 製 造	7	14	9	▲ 22	▲ 41	▲ 23	
非 製 造 業	-	-	-	-	-	-	
卸 売	-	-	-	-	-	-	
小 売	-	-	-	-	-	-	
建 設	-	-	-	-	-	-	
不 動 産	-	-	-	-	-	-	
運 輸 ・ 倉 庫	-	-	-	-	-	-	
電 気 ・ ガ ス	-	-	-	-	-	-	
情 報 通 信	-	-	-	-	-	-	
飲 食 店 ・ 宿 泊	-	-	-	-	-	-	
サ ー ビ ス	-	-	-	-	-	-	

<調査手法>

わが国の代表的な景気動向調査として、日本銀行の「企業短期経済観測調査（短観）」と内閣府・財務省の「法人企業景気予測調査」とがあります。本調査はそれらの全国ベースの調査に対応する地域ベースの調査として、埼玉県内における経済産業動向や企業経営動向をアンケートの方法によって集計・調査したものです。

本文中にあるBSIは、ビジネス・サーベイ・インデックス（Business Survey Index）の略で、質問事項に対して「増加」「変わらない」「減少」の各要素を持つ3種類の選択肢を用意し、このうち増加要素を持つ選択肢に回答した企業の割合から、減少要素を持つ選択肢に回答した企業の割合の差をとったもので、企業の景況判断についての強弱感を指標化したものです。BSIのプラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化を表しています。例えば、回答した企業500社のうち150社（30%）の企業で売上が増加し、50社（10%）の企業が減少した場合、BSIは次のように20となります。

$$BSI = (150/500 \times 100) - (50/500 \times 100) = 30 - 10 = 20$$

<調査要領>

1. 調査の目的

埼玉県内における経済産業動向、企業経営動向を調査して、地域内企業の経営判断の参考に供するとともに、地域経済産業の発展に寄与することを目的としております。

2. 調査対象企業

県内に事業所を置く企業の中から、概ね従業員10名以上の企業を抽出、産業分類は製造業12業種、非製造業9業種、計21業種に分類しました。対象企業の業種別内訳は別表のとおりです。

3. 調査時期 2023年4月

4. 調査方法

最近と先行きの景気・業況判断、2023年1～3月期の経営動向及び2023年4～6月期、7～9月期の経営予測をアンケート方式により調査しました。

5. 回収状況

アンケートの回答企業は対象企業1,023社のうち、338社（回答率33.0%）。回答企業の業種別内訳と中小企業（中小企業庁方式）の占める比率は別表のとおりです。

別 表

業種別対象・回答企業数

	対象企業数	回答企業数	業種別構成比 (%)	うち中小企業 の占める比率 (%)
全 産 業	1,023	338	100.0	94.1
製 造 業	390	129	38.2	98.4
食 料 品	49	16	4.7	100.0
織 維	21	10	3.0	100.0
紙・紙加工品	19	9	2.7	100.0
化 学	51	16	4.7	100.0
窯 業・土 石	21	0	0.0	---
鉄鋼・非鉄金属	18	9	2.7	100.0
金 属 製 品	20	9	2.7	100.0
一 般 機 械	49	4	1.2	100.0
電 気 機 械	39	13	3.8	92.3
輸 送 機 械	48	17	5.0	94.1
印 刷	22	3	0.9	100.0
そ の 他 製 造	33	23	6.8	100.0
非 製 造 業	633	209	61.8	91.4
卸 売	80	34	10.1	100.0
小 売	87	23	6.8	69.6
建 設	89	37	10.9	100.0
不 動 産	52	20	5.9	100.0
運 輸・倉 庫	71	24	7.1	95.8
電 気・ガ ス	18	6	1.8	83.3
情 報 通 信	40	9	2.7	100.0
飲 食 店・宿 泊	38	7	2.1	100.0
サ ー ビ ス	158	49	14.5	81.6